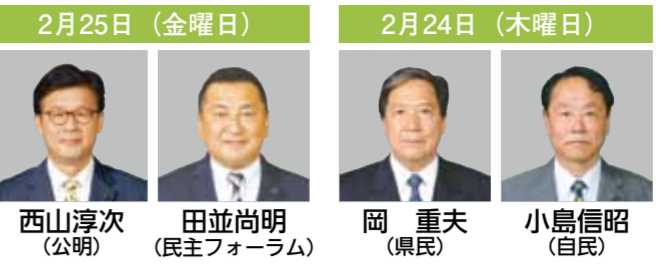




一般質問

2月28日から3月3日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。

ホームページでご覧いただけます
代表質問・一般質問の質疑質問・答弁の全文は右のQRコードからご覧いただけます。



代表質問

2月24日、25日の代表質問では、会派を代表して4人の議員が質疑質問を行いました。

教育

一般質問
郷土芸術家の育成につながる美術鑑賞
文化・芸術は人々の心に潤いをもたらす大切な役割がある。近代美術館では、本県ゆかりのアーティストを紹介する展覧会などで若手芸術家を支援。将来の芸術家を育てる観点から、学校への芸術家派遣等で子供たちの文化芸術への関心を高めていく。

保健・医療

代表質問
自殺防止対策
本県の自殺者数は毎年千人を超え依然深刻だ。身近な人の自殺のサインに気づき、話を受け止め、必要に応じて専門機関へつなぐサポートが必要だが、調査では86%の県民がその存在を知らない。ゲートキーパーの養成の現状と、今後の更なる取り組みについて伺う。

環境

代表質問
地球温暖化対策について
国際社会は2050年までに世界の脱炭素化を目指す。それが2030年までの10年間で決定的に重要。国は2030年の目標を2013年比46%以上削減と掲げる。現在見直しを行う県の目標も46%以上と考えると、また、どんな新たな対策を検討しているのか。

農業

代表質問
農業分野での脱炭素に向けた取組について
海外ではカーボンクレジット(※7)が第2のゴールドドラゴンとして注目されている。農業分野でも、ライ麦の炭素貯留効果(※8)や森林吸収によるCO₂削減量を売って収入にする例がある。本県においても新たな脱炭素の研究を始めることができないか所見を伺う。

福祉

代表質問
訪問医療、訪問介護の安全対策について
ふじみ野市の住宅で訪問医療の医師が散弾銃で殺害される衝撃的な事件が発生した。これを契機に訪問医療や訪問介護に伴うリスクを再認識し、対策に取り組むべき。専門相談窓口の設置や研修の充実、警察等との連携などの対策を検討し、実行に移すべきと考えるが見解を伺う。

産業

代表質問
原油・原材料価格高騰対策について
原油・原材料価格の高騰が広がっている。対策会議を設置し、農業、交通、福祉などに影響を受ける事業者への支援を検討するなど、早急な対応を行うべき。公共工事では資材高騰や輸送コスト上昇に対応するためスライド条項(※1)の適用を活用すべき。

まちづくり

代表質問
令和4年度埼玉県一般会計当初予算案について
令和4年度当初予算は、開催し、全職員がわが事としてDXの推進を図る意識や知識を持つようすべく、また、デジタルの世界は日進月歩。最新の知識を持つ人材を外部から招へるべき。さらに、広聴・広報に努め、県民一体となった事業展開を図るべき。所見を伺う。

インフラ

代表質問
自動運転時代を見据えた道路行政について
2025年、自動運転はレベル4になり高速道路での自動運転が実現。その先のレベル5では市街での自動運転が実現する。道路の重要性が高まるが、支障となるのが道路環境。本県は混雑地点が多く混雑時の走行スピードも遅い。自動運転社会を迎える道路整備の考え方を伺う。

災害対策

代表質問
災害時の帰宅困難者対策
巨大地震のリスクは年々高まり、公共交通機関が断たれた場合の帰宅困難者対策を確立する必要がある。しかし、代替輸送としてのバスの具体的な輸送区間は定められていない。東京都と具体的なバス輸送区間を定めるなど、今できることをやるべきと考えるが見解を伺う。

観光

代表質問
ポストコロナを見据えた県の観光振興
コロナの影響で観光業界は苦境に立たされ、危機的な経営を強いられる事業者が増えている。コロナ禍で人々の旅行形態や志向が変化し、コロナが終息しても収益を以前の水準まで回復させるのは難しいと聞く。県として疲弊した観光事業者が希望を見出すような支援をすべき。

用語解説

- ※1 あと数マイルプロジェクト
将来の人口・需要や新たな技術の動向等を十分に把握した上で、公共交通および道路網のさらなる利便性向上策について、これまでの経緯等も踏まえつつ検討し、限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めるもの。
- ※2 他の4路線
「あと数マイルプロジェクト」において延伸を計画している鉄道のうち、「埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)」を除いた「東京12号線(大江戸線)」、「東京8号線」、「日暮里・舎人ライナー」、「多摩都市モノレール」の4路線を差す。
- ※3 B/C(ビーバイザー)
費用対効果。費した費用に対してどのくらいの効果が得られるかを表す概念。
- ※4 DX(デジタルトランスフォーメーション)
最新のデジタル技術を使って生活スタイルや働き方、事業などを変革すること。
- ※5 実質的な地方交付税
地方交付税の総額に臨時財政対策債を加えたもの。臨時財政対策債とは、国から地方交付税として交付されるべき額の不足分を県が代わりに借り入れるもので、元利償還金相当額は後年度の地方交付税で全額措置される。
- ※6 大宮スーパー・ボールパーク構想
大宮公園にある3つの競技施設(野球場、サッカー場、双輪場)を活用し、歴史ある大宮公園をより魅力ある公園としていく再整備計画のこと。
- ※7 カーボンクレジット
省エネルギー機器の導入などによって生まれるCO₂などの温室効果ガスの削減量、吸収量を「クレジット」として発行し、企業間などで売買できるようにする仕組み。CO₂排出量の実質ゼロを目指す企業が増えることで需要が増している。
- ※8 炭素貯留効果
大気中のCO₂を吸収した有機物を土壌に投入すると、含まれる炭素の一部は分解されにくい腐食物質になり土壌に蓄積される。結果、大気中のCO₂が削減される効果のこと。
- ※9 S-GAP
埼玉県が独自に策定したGAPのこと。GAPは「Good Agricultural Practice」の略で、直訳すると「良い農業のやり方」。農業に関する法律や規則、モラルを守ることにより、食品安全、労働安全、環境保全それぞれに配慮した持続的な農業経営をすることを意味している。
- ※10 国際水準GAPガイドライン
農林水産省が策定した、国際的に求められるGAPの取り組み事項を、「食品安全・環境保全・労働安全・人権保護・農場経営管理」の5分野に分け、根拠および参考となる法令、通知等と共に提示しているガイドラインのこと。
- ※11 スライド条項
スライド制度は、埼玉県建設工事標準請負契約約款第26条(いわゆるスライド条項)に規定された制度。工事の契約締結後に賃金水準や物価水準が変動し、その変動額が一定程度を超えた場合に請負代金額の変更を請求できる。
- ※12 経営安定資金
中小企業の経営安定や再生に向けた融資制度のこと。新たに原油・原材料価格高騰の影響を受けている中小企業を対象とし、最近1か月の売上総利益率または営業利益率が、過去2年のうちいずれかの同月に比べて5%減少している事業者が対象となる。

知事の県政運営方針

代表質問
「あと数マイルプロジェクト」について
令和3年3月、県内交通の在り方や課題を整理するため立ち上げた「公共交通の利便性向上検討会議」の報告書がまとめられた。これを受け、埼玉高速鉄道線延伸の課題解決に向けたスケジュール感と熱意を伺う。また、他の4路線(※2)についても令和4年度の目標を伺う。

知事の県政運営方針

代表質問
DX(※4)の推進について
DX推進会議を定期的に開催し、全職員がわが事としてDXの推進を図る意識や知識を持つようすべく、また、デジタルの世界は日進月歩。最新の知識を持つ人材を外部から招へるべき。さらに、広聴・広報に努め、県民一体となった事業展開を図るべき。所見を伺う。

知事の県政運営方針

代表質問
令和4年度埼玉県一般会計当初予算案について
令和4年度当初予算は、開催し、全職員がわが事としてDXの推進を図る意識や知識を持つようすべく、また、デジタルの世界は日進月歩。最新の知識を持つ人材を外部から招へるべき。さらに、広聴・広報に努め、県民一体となった事業展開を図るべき。所見を伺う。

知事の県政運営方針

代表質問
自動運転時代を見据えた道路行政について
2025年、自動運転はレベル4になり高速道路での自動運転が実現。その先のレベル5では市街での自動運転が実現する。道路の重要性が高まるが、支障となるのが道路環境。本県は混雑地点が多く混雑時の走行スピードも遅い。自動運転社会を迎える道路整備の考え方を伺う。

知事の県政運営方針

代表質問
災害時の帰宅困難者対策
巨大地震のリスクは年々高まり、公共交通機関が断たれた場合の帰宅困難者対策を確立する必要がある。しかし、代替輸送としてのバスの具体的な輸送区間は定められていない。東京都と具体的なバス輸送区間を定めるなど、今できることをやるべきと考えるが見解を伺う。